

# 「心と体を守るための校長講話」

## 【1】体罰について

- ・ 今日、みなさんの大切な心と体を守るための話をします。
- ・ みなさんの体や心は、みなさんそれぞれ、自分自身だけのものです。
- ・ 叩かれる、蹴られる、突き飛ばされるなどの肉体的に苦痛を感じるような行為だけが暴力ではありません。くり返し傷つく言葉を言われる、机を蹴られるなどの精神的に苦痛を感じる行為も暴力に含まれます。
- ・ 暴力は、どんな理由があっても、誰であっても、決して許されるものではありません。
- ・ あってはいけないことなのですが、学校の先生やその他の人たちが、生徒のみなさんに対して、指導の際に、叩いたり、蹴ったりする等の肉体的な苦痛を与える行為は、体罰といって禁止されています。
- ・ 肉体的な苦痛でなくても、繰り返し暴言や心を傷つける言葉を言ったり、机を蹴ったりして威圧する等、精神的な苦痛を与えることも不適切な行為になります。

## 【2】性暴力について

- ・ また、相手が嫌がっているのに、体を触ったり、服で隠れている部分をのぞこうしたり、性的な言葉を言ったり、LINEやメールで性的な言葉を送ったりする等、性的な言葉や行動で、人を傷つけることを、性暴力と言います。
- ・ 性暴力も、どんな理由があっても、誰であっても、決して許されるものではありません。

## 【3】困ったことがあったら、すぐに知らせてください

- ・ もし、自分が体罰や性暴力の被害に遭いそうになったら、または被害に遭ってしまったら、一人で抱え込んだり悩んだりしないで、家族や先生、養護教諭、スクールカウンセラー等の信頼できる大人に知らせてください。
- ・ 性暴力を受けている相手が学校にいる先生だった場合や、体罰のことを学校に話しにくい場合には、みなさんが学校以外にも、話せる場所をつくっています。
- ・ 学校の先生や大人にも話しにくい場合は、この後、クラスで担任の先生から用紙を配ってもらいます。その用紙に書かれているメールアドレスやQRコードで読み取った先の電話番号に連絡すると、体罰や性暴力に関する話を聞いてくれて、みなさんのことを助けてくれます。
- ・ また、その用紙に話したいことを書いて、糊付けをすれば、切手無しでも郵送で送ることができますし、インターネットからも回答が可能です。
- ・ 自分が体罰や性暴力を受けていなくても、友だちが体罰や性暴力を受けていると思ったときも、迷わず知らせてください。
- ・ 校長先生も先生たちも、生徒のみなさんの心と体を大切に守りたいと思っています。そのためにも、ぜひ一人で悩まないで、知らせてください。